

定例記者会見 次 第

平成 30 年 6 月 29 日(金) 午前 10 時～

会議室 101・102

■ 報道発表事項

No.1	燕市総合防災訓練を実施 － 全国初！研究機関と協働でサイバー・フィジカル防災訓練を行います －
No.2	農業用ドローンをテーマに 第 1 回農業先進技術セミナーを開催 － 導入効果や今後の可能性について学びます －
No.3	薬の飲み残し対策に「^{せつやく}節薬バッグ」を配布 － 国保事業として県内自治体初の取り組みです －
No.4	燕マラソン大会の新しい大会名称を募集 － 燕市の魅力を発信できるような名称を募集します －
No.5	中小企業の生産性向上に向けた設備投資を支援 － 新規取得設備の固定資産税が 3 年間ゼロになります －
No.6	「若 mono デザインコンペティション燕 vol.3」 製品デザインの公募を開始 － 使うたびに感動を生む製品デザインを募集します －
No.7	ものづくりの「監督者研修会」を開催 － 若手育成や技能承継を行う監督者に必要な 5 つの条件を学びます－
No.8	「羽ばたけつばくろ応援事業」に 6 件の企画を採用 － 燕市の魅力を P R する様々な企画が集まりました －
No.9	N H K 全国放送「民謡をたずねて」公開収録 － 地元をはじめとする全国各地の民謡を紹介します －
No.10	市の乳がん検診(マンモグラフィ検査)を医療機関で受診できます － 都合に合わせて予約できるため受診しやすくなります －
No.11	Jack & Betty プロジェクト 平成 30 年度 海外派遣事業の親善大使が決定 － 親善大使は 8 月 5 日に出発式を行います －

※その他、燕市報道資料 No.12「7 月の各課事業予定表」を参照してください。

■ 記者会見事務局 ■

燕市役所 3 階 企画財政部 企画財政課（企画チーム）
電話：0256-77-8352（直通）窓口番号⑩・⑪

平成 30 年 6 月 29 日

燕市総合防災訓練を実施

－ 全国初！研究機関と協働でサイバー・フィジカル防災訓練を行います －

防災意識の向上を図るため、全市一斉に総合防災訓練を実施します。当日は、住民避難訓練、災害対応訓練のほか、聴覚障がい者の避難所への避難を想定した対応訓練を行います。さらに、研究機関と協働し、災害時における被害状況の迅速な把握を目指し、人と A I の力を合わせた災害状況把握の実施訓練（サイバー・フィジカル防災訓練）を行います。

【燕市総合防災訓練 概要】

1. 開催日：7 月 1 日（日）雨天決行

2. 実施訓練

(1) 住民避難訓練 午前 9 時 00 分～

自治会等が避難所へ避難し、実際の避難所を想定した訓練を実施します。

(2) 災害対応訓練 午後 1 時 00 分 ～ 午後 4 時 00 分 観覧自由

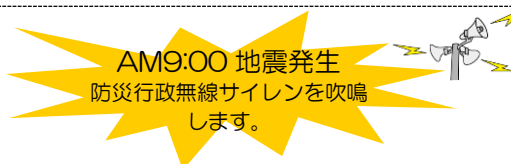
災害発生時の関係機関による救助訓練、各種展示・体験コーナーを設置します。

(3) 聴覚障がい者避難訓練 午前 9 時 00 分～

①会 場：分水福祉会館（指定避難所） ②参加者：燕市聴覚障がい者協会

③内 容：(1)にあわせ、聴覚障がい者が避難した際の対応訓練を実施します。

・避難所に到着してからの受付対応・避難エリアへの誘導・避難所内での情報伝達 など



(4) サイバー・フィジカル防災訓練※ 午前 9 時 00 分～

①会 場：柳山地区、小池小学校（柳山 2131／指定避難所）

②参加者：筑波大学、富山大学、京都大学、防災科学技術研究所（ほか）

③内 容：被災地域（柳山地区）において、被災箇所を示す「赤い○や△印」を道路路上や建物に付け、発見した避難住民は、専用サイトにおいて場所と被害内容を報告します。上空からの被災状況把握としてドローンを飛行させ、画像や映像を撮影します。収集した情報を A I による情報処理とネットワークを介した被災地外の専門家等による情報分析（クラウドソーシング）により、迅速に被災箇所を特定します。また、小池小学校では、被災地域で撮影したデータの公開を行います。

※人々と A I（人工知能）が協調し課題解決を行う技術を用いた災害対応（サイバーとフィジカルを繋ぎ合わせた新しい災害対応）

本件についてのお問い合わせ先

総務部 防災課：米山

電話：0256－77－8381（直通）

平成 30 年 6 月 29 日

農業用ドローンをテーマに 第 1 回農業先進技術セミナーを開催

－ 導入効果や今後の可能性について学びます －

農業従事者の高齢化や、農地集積等に伴う大規模経営化の流れから、農業経営の更なる省力化・効率化が求められており、新たに誕生した技術が、人の作業の補助や代替として注目を集めています。

燕市では、先進技術がどのように農業経営の課題解決に繋がるのか、具体的な導入事例や今後の可能性を含め、情報提供を行うセミナーを今年度 2 回実施する予定です。

第 1 回は、農業用ドローンをテーマに、その導入効果や今後の可能性について、セミナーを開催します。

【第 1 回 農業先進技術セミナー 概要】

- 1.日 時：7 月 19 日（木）
午後 4 時 00 分～午後 5 時 30 分（受付開始：午後 3 時 30 分）
- 2.会 場：燕市役所 1 階 つばめホール
- 3.定 員：50 名
- 4.申し込み：不要（参加無料）
- 5.構 成：セミナーと実演の 2 部構成

<第 1 部 セミナー>

演題 『空から無限の情報を。
～ドローンが描く次世代農業～』

講師 株式会社スカイマティクス
セールスマネージャー むろや まさき 室矢 昌樹氏



<講師プロフィール>

神奈川県海老名市出身。アメリカの大学に留学し卒業後、2012 年 4 月に三菱商事に入社。宇宙航空関連事業に従事し、2016 年 10 月より現職。セールスマネージャーとして、農業分野におけるリモートセンシングサービスの普及を推進されています。

<第 2 部 ドローン実演>

市役所まちづくり広場で実機によるデモを行います。

※悪天候の場合は中止となります

本件についてのお問い合わせ先
産業振興部 農政課：柄澤、大関
電話：0256-77-8242（直通）

平成 30 年 6 月 29 日

薬の飲み残し対策に「^{せつやく}節薬バッグ」を配布

－ 国保事業として県内自治体初の取り組みです －

燕市国民健康保険では被保険者の服薬管理の推進を図ることにより、残薬の誤飲や不適切服薬による副作用の防止、医療費の節約・削減につながる事業として、「^{せつやく}節薬バッグ」事業を開始します。県内自治体では初めての取り組みで、対象者には 7 月上旬に「^{せつやく}節薬バッグ」を配布します。

なお、この事業は燕市医師会、燕薬剤師会と連携しており、県央薬剤師会・県薬剤師会からの協力も得ているので、市外の調剤薬局でも利用できます。

【^{せつやく}節薬バッグ事業 概要】

- 1.対 象 者：50 歳以上、1 ヶ月に 4 剤以上処方（内服薬として長期処方）されている燕市国民健康保険被保険者 約 1,800 人
- 2.発送時期：7 月上旬
- 3.利用方法：対象者は、飲み残しや使いきれなかった薬（残薬）がある場合に、お薬手帳とともに「^{せつやく}節薬バッグ」に入れて調剤薬局等に持参します。
薬局では、残薬の量や使用期限を確認し、再利用できる場合は医師に連絡し、今後の処方量の調整を進めます。



本件についてのお問い合わせ先
健康福祉部 保険年金課：服部、梅田
電話：0256-77-8132（直通）

平成 30 年 6 月 29 日

燕マラソン大会の新しい大会名称を募集

－ 燕市の魅力を発信できるような名称を募集します －

来年、燕マラソン大会をリニューアルすることに伴い、新しい大会名称を広く募集します。来年の大会は、大河津分水さくら公園をスタート・ゴールとする新しいコースで、日本さくら名所 100 選に選ばれている自然豊かなコースです。

新たな大会に相応しい燕市らしさを表現した名称をお待ちしています。

【大会名称募集 概要】

- 1.募集期間：7 月 1 日（日）から 8 月 20 日（月）まで
- 2.募集内容：燕市をイメージでき、末永く親しまれる名称を募集
- 3.応募資格：どなたでも
- 4.応募方法：郵送、持参、ファックス、燕市公式ウェブサイトより応募できます
※様式は自由（燕市公式ウェブサイトに参加様式があります）
①大会名称（ふりがな）、②その名称をつけた理由、③住所、
④氏名、⑤電話番号を明記の上、応募してください。
※一人一点に限ります
- 5.選考：燕マラソン大会実行委員会において、一点を選考します
※燕マラソン大会新大会名称募集要項に基づき、募集選考します。
- 6.副賞：名称が採用された一人に燕市の地場製品のほか、マラソン大会出走権を贈呈
- 7.応募先：燕市教育委員会社会教育課スポーツ推進室、燕市体育センター、
吉田総合体育館、分水総合体育館

【次回 第 30 回燕マラソン大会 概要】

- 1.開催日：平成 31 年 4 月 20 日（土）
※「分水おいらん道中」の前日に開催します
- 2.会場：大河津分水さくら公園
- 3.部門：ハーフマラソン（新設）
リバーサイドウォーキング（新設）
10km、5km、3 km、ペア 2 km
- 4.その他：ハーフマラソンコース（新設）は、
日本陸上競技連盟公認コース（申請予定）。



本件についてのお問い合わせ先
教育委員会 社会教育課：廣田
電 話：0256-77-8368（直通）

中小企業の生産性向上に向けた設備投資を支援

－ 新規取得設備の固定資産税が 3 年間ゼロになります －

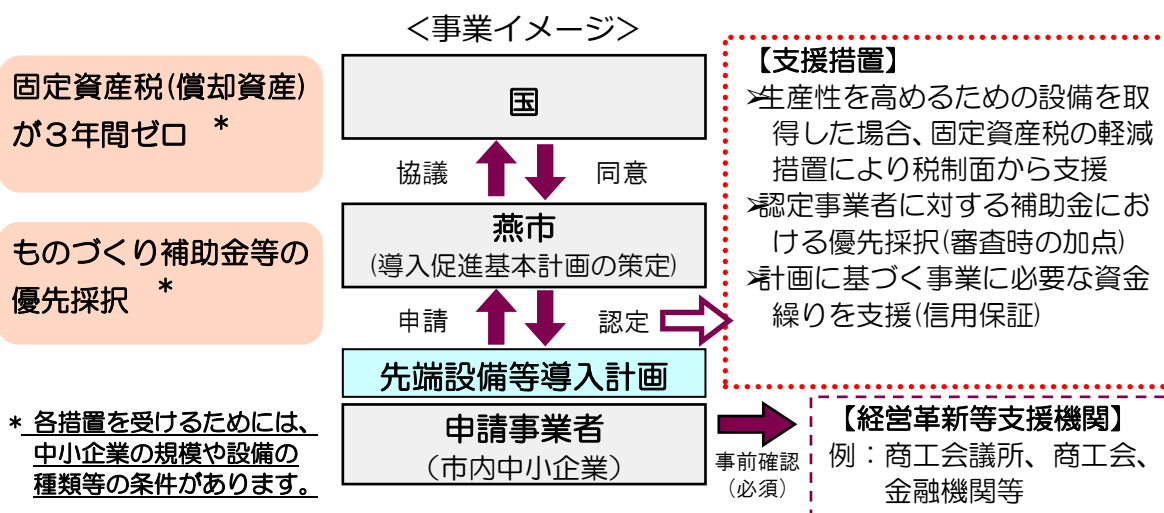
中小企業の生産性向上に向けた設備投資を支援する「生産性向上特別措置法」が施行されました。市ではこれを受け、市内中小企業が作成する「先端設備等導入計画」の認定申請の受付を始めました。

計画認定を受けた事業者の新規取得設備は、固定資産税（償却資産）が 3 年間ゼロとなる特例適用や、国の補助金等の優先採択が受けられます。

【設備投資支援 概要】

1. 制度概要

「先端設備等導入計画」の認定を受けた認定事業者が行う生産性向上のための設備投資を後押しします。



2. 主な認定要件

- ・ 計画期間終了時に労働生産性が年平均 3 %以上の向上が見込まれるものが対象
- ・ 事業者は商工会議所や商工会、金融機関等の事前確認を受けることが必要

3. 対象設備

機械装置、器具備品、測定工具及び検査工具、建物附属設備、ソフトウェア

4. 受付期間：随時受付

5. 申 請 先：商工振興課 産業支援係

本件についてのお問い合わせ先
産業振興部 商工振興課：武田
電話：0256-77-8231（直通）

平成 30 年 6 月 29 日

「若 mono デザインコンペティション燕 vol.3」 製品デザインの公募を開始

－ 使うたびに感動を生む製品デザインを募集します －

学生や若手デザイナーの視点で優れた製品デザインを集めて製品化を目指す企画「若 mono デザインコンペティション燕」。今年は「感動を生む『made in 燕』」をテーマに、使うたびに感動を生むような製品デザインを募集します。

また、今年から、応募登録した方を対象に「燕の製造技術」への理解を深めるため、市内企業見学会を開催する予定です。

【コンペティション 概要】

1. テー マ : 感動を生む『made in 燕』
2. 募集対象 : 『ものづくりのまち・燕』だからこそカタチにできる主に金属加工による製品のデザイン
3. 賞・賞金 : 大 賞 (全 1 点) …賞金 20 万円
準大賞 (全 3 点) …賞金 10 万円
4. 応募資格 : 39 歳以下の個人またはグループ
5. 応募点数 : 制限なし ※参加費無料
6. 製 品 化 : 受賞作品は市内企業や関係機関の協力により製品化を目指します
7. 募集期間 : 7 月 2 日 (月) ～平成 31 年 1 月 31 日 (木) 必着
8. 応募方法 : 燕市公式ウェブサイトから応募者情報を登録 (参加表明) した後、「応募シート」と「作品シート」を作成し、郵送、宅配便または持参で提出
9. 見 学 会 : 応募登録をした方が対象 ※現地移動費は無料
10. 主 催 : 新潟県燕市物産見本市協会 (燕市、燕商工会議所、
日本金属洋食器工業組合、日本金属ハウスウェア工業組合)



【審査概要】

1. 審査方法 : 書類審査
2. 審査基準 : ①新規性・革新性、②デザイン性、③市場性、④商品化の可能性
3. 審 査 会 : 平成 31 年 2 月頃
4. 表 彰 式 : 平成 31 年 3 月頃

本件についてのお問い合わせ先
産業振興部 商工振興課 : 竹田
電話 : 0256-77-8289 (直通)

平成 30 年 6 月 29 日

ものづくりの「監督者研修会」を開催

－ 若手育成や技能承継を行う監督者に必要な 5 つの条件を学びます －

ものづくりの現場を支えてきたベテラン職人の離職などにより、技術や技能の維持や承継が難しくなっています。

市では、その対策の一環として、若手育成や技能承継などを円滑に進めてもらうため、ものづくりの現場で中核的な役割を担う、将来の管理監督候補者(職長、班長、リーダー等)を対象とし、若手に対する仕事の教え方などを学ぶ研修会を実施します。

【監督者研修会 概要】

1.日 程：

9月7日(金)、9月14日(金)、9月21日(金)、9月28日(金)
午後2時00分～午後5時00分(3時間×4日間)

2.会 場：市役所 2階 201 会議室 他

3.講 師：^{ふじた} 藤田 ^{のぼる} 昇 (柏崎技術開発振興協会 人材育成アドバイザー)

4.内 容：監督者に必要な5つの条件(仕事の知識、職責の知識、改善する技能、人を扱う技能、教える技能)の習得に向けて実演を通して学びます。

5.受 講 料：3,900 円

※市内の中小企業者は、燕市の研修受講料補助金補助対象となります。

6.定 員：10 名

7.申込方法：申込書に記入の上、下記のいずれかの方法で商工振興課新産業推進係までお申込みください。

①F A X：0256-77-8306

②メール：shoko@city.tsubame.lg.jp

③郵 送：〒959-0295 燕市吉田西太田 1934 番地

商工振興課 新産業推進係 宛

8.申込期限：7月31日(火)または定員に達するまで

9.主 催：燕市、三条テクノスクール



本件についてのお問い合わせ先
産業振興部 商工振興課：佐藤
電話：0256-77-8232 (直通)

平成 30 年 6 月 29 日

「羽ばたけつばくろ応援事業」に 6 件の企画を採用

－ 燕市の魅力を P R する様々な企画が集まりました －

燕市の将来を担う人材育成を目的に、夢の実現や社会参画など、若者の主体的な活動を応援する「羽ばたけつばくろ応援事業」を実施しています。今年度は団体のみ合計 6 件の応募があり、公開審査を経て、6 件全てを採用しました。

【採用企画 概要】

団体 6 件（交付額計 1,000,000 円）

申請者	テーマ	補助金交付決定額 (円)	概 要
分水小学校 分水路サミット 実行委員会	分水路サミット ～荒川放水路の学びと大河 津分水の発信～	167,000	・大河津分水と荒川放水路を比較し、リーフレットを作成 ・大河津分水の素晴らしさを他地域に暮らす人々へ発信
小池中学校 生徒会	糸半（いとはん） プロジェクト ～企業の魅力発信バージョン～	200,000	・校内で講演会を開催 ・「工場の祭典」を見学 ・企業でボランティア活動を行う ・活動を紹介する「糸半企業新聞」の発行
吉田高校 美術部	燕市を世界へ！！ P R	157,000	・ふるさと CM を作成 ・撮影した画像に絵を加え、トランプ風カードを制作
あうとどあーず OUTDOORS	自分たちで創る燕市 P R 海 外研修	200,000	・パース（オーストラリア）で燕の歴史や工業製品についてプレゼンテーション発表 ・市街地でクイズ形式のインタビューを実施
分水高校 カヌー部	カヌーの魅力 再発見！	183,000	・プロモーションビデオを制作 ・高校生講師によるカヌー教室（座学）を開催
ちえすなっつ Chestnuts	英国の文化&語学研修	93,000	・ブリティッシュヒルズ（福島県）で英国の文化やマナーを体験 ・英語のカルチャーレッスンで燕市を P R

【補助金 概要】（3 月 28 日既報）

1.対象および補助額

	対 象	補助額
個 人	高校生から 20 歳まで	10 万円まで
団 体	小学生から 20 歳まで	25 万円まで



2.活動期間：採用決定から平成 31 年 1 月 31 日（木）まで

3.そ の 他：平成 31 年 2 月に報告会を実施予定

本件についてのお問い合わせ先
教育委員会 学校教育課：宿屋
電話：0256-77-8195（直通）

平成 30 年 6 月 29 日

N H K 全国放送「民謡をたずねて」公開収録

－ 地元をはじめとする全国各地の民謡を紹介します －

多くの方々から日本の伝統文化への理解を深めていただくことを目的として、N H K 新潟放送局と共催して、8 月 25 日(土)に燕市文化会館において、ラジオ番組「民謡をたずねて」(全国放送)の公開収録を行います。

「民謡をたずねて」は、私たちの遠い祖先が素朴な生活から生み出した数々の民謡を、地元の民謡も交えながら紹介する番組です。

【「民謡をたずねて」公開収録 概要】

- 1.日 時：8 月 25 日(土)
開 演：午後 1 時 3 0 分(開場：午後 1 時)
終演予定：午後 3 時 3 0 分
- 2.会 場：燕市文化会館(燕市水道町 1 丁目 3 番 2 8 号)
- 3.主 催：NHK 新潟放送局・燕市



4.出演予定：	
唄	小杉貴子、鈴木正夫、村松喜久則、佃光堂、 木津かおり、加賀山紋
三味線	藤本秀心、藤本哲也
尺八・笛	米谷 智
鳴 物	美鵬人子、美鵬 マミ
はやし詞	西田美和、西田りさ
司会	山崎智彦(NHK 新潟放送局アナウンサー)

- 5.入 場 料：無料 ※入場整理券が必要です
- 6.申込方法：「郵便往復はがき(私製を除く)」に以下を記入してお申込みください

往信用裏面	①郵便番号、②住所、③名前(ふりがな)、④電話番号
返信用表面	①郵便番号、②住所、③名前
- 7.申 込 先：燕市文化会館「民謡をたずねて」係
- 8.申込期限：7 月 30 日(月) 必着
- 9.放送予定日：平成 30 年 9 月 15 日(土)、22 日(土)、29 日(土)
午後 0 時 30 分～午後 0 時 55 分 <ラジオ第 1・FM・国際>
- 10.問 合 せ：NHK 新潟放送局 電話 025-230-1682(24 時間/テブ案内)
燕市文化会館 電話 0256-63-7002(午前 9 時～午後 5 時/土日祝除)

本件についてのお問い合わせ先
教育委員会 社会教育課：宇佐美
電話：0256-63-7002(直通)

市の乳がん検診(マンモグラフィ検査)を 医療機関で受診できます

－ 都合に合わせて予約できるため受診しやすくなります－

がんの早期発見を目的に、女性の皆さんがより乳がん検診を受診しやすくなるよう、検診車による集団検診に加えて、医療機関でのマンモグラフィ検査の実施を始めます。

市の乳がん検診として医療機関でのマンモグラフィ検査は、県央地域では初めての実施です。集団検診よりも検診期間が長く、受診者の都合に合わせた日時に受診できるため、受診者の増加が期待でき、乳がんの早期発見・早期治療につながります。

【燕市乳がん検診 概要】

1.対 象 者：燕市に住所登録のある40歳以上の女性で前年度未受診者

2.検診方法

医療機関検診	指定の医療機関（県立吉田病院・県立燕労災病院）で実施するマンモグラフィ検査
集 団 検 診	検診車で実施するマンモグラフィ検査

3.検診期間

医療機関検診	平成 30 年 8 月～ 12 月
集 団 検 診	平成 30 年 8 月～ 9 月（18 日間）



4.受診方法

市の検診の申し込みをされている方には7月中旬頃受診票等が郵送されます。

医療機関検診	指定の医療機関（県立吉田病院・県立燕労災病院）に予約
集 団 検 診	受診票に記載された日程のうち、都合のいい日を選んで受診（混んでいると待ち時間が長くなります。休日は予約制です。）

5.個人負担金

医療機関検診	1,200 円
集 団 検 診	700 円

※ 65 歳以上無料

本件についてのお問い合わせ先
健康福祉部 健康づくり課：羽入田
（燕市保健センター）
電話：0256-93-5461（直通）

平成 30 年 6 月 29 日

Jack & Betty プロジェクト 平成 30 年度 海外派遣事業の親善大使が決定

－ 親善大使は 8 月 5 日に出発式を行います －

6 月 16 日（土）に、「Jack & Betty プロジェクト」の一環として「燕市英語スピーチコンテスト」を行い、親善大使を希望する成績優秀者から「Jack & Betty プロジェクト海外派遣事業」の親善大使 12 名を決定しました。

【平成 30 年度 Jack & Betty プロジェクト 海外派遣事業 概要】

1. 親善大使

氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年
こじま ゆうり 小嶋 悠凜	松長小学校	6 年生	ふかうみ ゆりい 深海 由里衣	燕中等教育学校	2 年生
しおばら みき 塩原 美輝	小池中学校	2 年生	こなかわ めいこ 粉川 芽子	燕中等教育学校	3 年生
わたなべ せりな 渡邊 世里菜	燕北中学校	2 年生	ひらさわ こうめ 平澤 幸芽	燕中等教育学校	3 年生
やまだ ゆうだい 山田 悠泰	吉田中学校	1 年生	ほんだ のどか 本田 和	燕中等教育学校	3 年生
さかつめ あやか 坂爪 彩華	吉田中学校	3 年生	みょうどう ともか 明道 友佳	燕中等教育学校	3 年生
たなべ はるか 田邊 陽香	燕中等教育学校	1 年生	よしおか しおり 吉岡 栞	燕中等教育学校	3 年生

2. 派遣先：オーストラリア（シドニー）、シンガポール

3. 派遣期間：8 月 14 日（火）～8 月 25 日（土）12 日間

4. 内 容

- (1) ホームステイ（シドニー）
- (2) 現地学校での語学研修
- (3) シドニーオリンピック関連施設見学と講話
- (4) 燕市の PR 活動 等

5. 出 発 式：8 月 5 日（日） 午前 10 時～

（会場：市民交流センター）

スピーチコンテストの様子



本件についてのお問い合わせ先
教育委員会 学校教育課：廣川、横山
電話：0256-77-8191（直通）